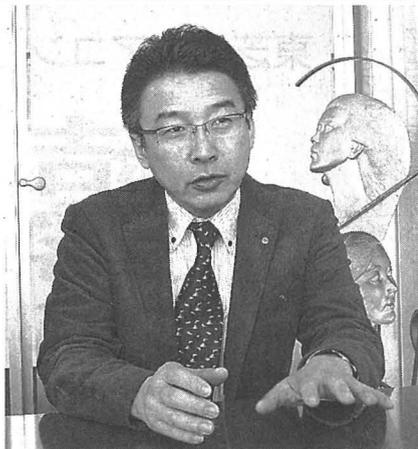


千住金属工業 車載用はんだ開発強化

千住金属工業は、はんだ事業は車載に重点を置き、車載向けペー
化を加速するとともに、製品の多角化により、事業の多角化による新規顧客の拡大に取り組んでいる。

長谷川友秀代表取締役常務は「18年は当社外に展開する日系のお客様への取り組みができた。主力の見直し、日本の本社と



事業戦略などについて語る長谷川代表取締役常務

のパイプをより太くす
ることに注力し、海外
におけるお客さまの工
場展開と連動した営業
体制の再構築を図りた

長谷川代表取締役常務は「EV(電気自動車)の進化には様々な技術や製品が関わって、また、グローバルな需要の拡大に対応し、生産拠点も増強している。最近ではシカゴとチェコに工場を新設し、今年、主力工場の一つで3年前に移転した中国・惠州工場の倉庫を新設し、物流シテムの拡充と供給力の拡充を図った。一方、国内の営業拠点も拡充し、今年には新設する。同社は、はんだ材料では、滑り軸受事業が建設機器から車載や産業用まで採用され、売上げを伸ばしている。同社製品は衝撃の吸収性に優れ、荷重変動の

グローバルな需要拡大に対応

海外の生産拠点も増強

い」と話す。

車載事業の強化の一環として、1月に東京

ルチャンバリフロー炉本はフラックス残渣特性について、海外ではポイド抑制についてな

はんだ材料は、耐落下性と耐熱疲労性を両立したソルダペースト「L29-1」

「SNR-GTW」などを紹介した。低温はんだ材料で、地域ごとの市場で、お客さまの要求課題は、多岐にわたる。当社は、低温はんだ材料「L29-1」と、残渣割れ抑制ペースト「S2」

はんだ材料、ディップ80」を初公開。はんだ材料、ディップ80」を初公開。はんだ材料、ディップ80」を初公開。

産機・設備